

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

| | | | |
|----|------|----|----|
| 分野 | 伝統芸能 | 種目 | 邦舞 |
|----|------|----|----|

申請区分(申請する区分を選択してください。)

| | |
|------|-----|
| 申請区分 | C区分 |
|------|-----|

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

| | | | |
|---------|---|--------|-----|
| 複数申請の有無 | 有 | 申請総企画数 | 5企画 |
|---------|---|--------|-----|

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

| | |
|--------------------|--------------------------|
| 複数の企画が採択された場合の実施体制 | 公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能 |
|--------------------|--------------------------|

芸術文化団体の概要

| | | | | |
|-------------------|--|----------|---|---|
| ふりがな | かぶしきがいしゃぼつくすよろづや | | | 団体ウェブサイトURL |
| 制作団体名 | 株式会社BOX4628 | | | http://box4628.jp/ |
| 代表者職・氏名 | 代表取締役・滝沢直也 | | | |
| 制作団体所在地 | 〒 | 171-0014 | 最寄り駅(バス停) | 東京メトロ 要町 |
| | 東京都豊島区池袋3-1-12-702 | | | |
| 電話番号 | 03-6907-0569 | | | |
| ふりがな | おきげいだいりゅうきゅうげいのうせんこうおーびーかい | | | 団体ウェブサイトURL |
| 公演団体名 | 沖芸大琉球芸能専攻OB会 | | | http://www.ii-okinawa.ne.jp/people/okigeidai-obkai/ |
| 代表者職・氏名 | 会長・玉城和樹 | | | |
| 公演団体所在地 | 〒 | 901-1203 | 最寄り駅(バス停) | 仲程 |
| | 沖縄県南城市大里大城2565-35 スイートテラス2-B | | | |
| 制作団体 設立年月 | 2015年 4月 | | | |
| 制作団体組織 | 役職員 | | 団体構成員及び加入条件等 | |
| | 代表取締役:滝沢直也 取締役:榎本かおり、岡本雅人 顧問・相談役:織田紘二、 | | 役員3名 監査役1名 事務局員5名 ※当団体の活動に賛同し琉球芸能に携わる実演家および関係者、舞台スタッフ | |
| 事務体制 (専任担当の有無) | 専任の事務担当者を置く | 本事業担当者名 | | 榎本かおり |
| 経理処理等の 監査担当の有無 | 有 | 経理責任者名 | | 税理士 大塚康正 |

| | | |
|-----------------|--|---|
| 制作団体沿革 | <p>2013年 制作会社BOX4628として発足、現住所に所在地を置く 2015年 法人格を取得、株式会社BOX4628 2015年 日本財団主催による「にっぽん文楽」六本木公演のアシスタントプロデューサーを務める 2017年「平成29年度文化芸術による子供の育成事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」 2018年「平成30年度文化芸術による子供の育成事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」 2019年「令和元年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」 2020年「令和2年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」 2021年「令和3年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択(2団体) 沖縄伝統組踊「子の会」、一般社団法人善竹狂言事務所 2022年「令和4年度文化芸術による子供育成推進事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」</p> | |
| 学校等における公演実績 | <p>2013年 組踊鑑賞会「執心鐘入」3校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」6校、「落語教室」6校 2014年 組踊鑑賞会「執心鐘入」17校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」4校「落語教室」10校 2015年 組踊鑑賞会「執心鐘入」20校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」5校「落語教室」10校 2016年 組踊鑑賞会「執心鐘入」20校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」3校 2017年 組踊鑑賞会「執心鐘入」10校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」35校 2018年 組踊鑑賞会「執心鐘入」15校、「狂言教室」27校 2019年 組踊鑑賞会「執心鐘入」10校、「狂言教室」16校 2020年 組踊鑑賞会「執心鐘入」8校、「狂言教室」10校</p> | |
| 特別支援学校等における公演実績 | <p>2016年 「組踊鑑賞会」 1校</p> | |
| 参考資料の有無 | 申請する演目のWEB公開資料 | 有 |
| | ※公開資料有の場合URL | https://www.youtube.com/watch?v=nDESofrNFAC https://www.youtube.com/watch?v=xmVTUt02K1E https://www.youtube.com/watch?v=OdYxv1c3Bj8 |
| | ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード | ID: |
| | | PW: |

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 沖芸大琉球芸能専攻OB会 】

| | | | | |
|--|--|------|----------------------------------|--|
| 対象 | 小学生(低学年) | ○ | | |
| | 小学生(中学年) | ○ | | |
| | 小学生(高学年) | ○ | | |
| | 中学生 | ○ | | |
| 企画名 | おきなわ伝統芸能「はじめての琉球舞踊にチャレンジ」 | | | |
| 本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付 | 1.「加那ヨ一天川」雑踊り (実演と歌詞、あらすじなど紹介) 2.ごあいさつ、沖縄県と琉球舞踊の紹介、●紅型塗り絵の紹介、●うちなーぐちクイズ 3.「四季口説」若衆踊り (実演と歌詞、あらすじなど紹介) 4.「前の浜」二才踊り (実演と歌詞、あらすじなど紹介) 5.●装束着付・小道具体験 6.●舞踊発表「四つ竹」女踊り 祝儀曲 7.「緋掛」女踊り 古典舞踊 (実演と歌詞、あらすじなど紹介) 8.地謡の楽器紹介 (構造や音色についてのお話) 9.●面の体験 10.「醜童」打ち組踊り 古典舞踊 (実演と歌詞、あらすじなど紹介) 11.「かぎやで風」老人踊り 古典舞踊 (実演と歌詞、あらすじなど紹介) 12.カーテンコール、感想インタビューと質問コーナー ※●は児童・生徒の共演、参加又は体験の演目 | | | |
| | ※別添:本公演演目①②参照 | | | |
| | 公演時間 90 分 | | | |
| 著作権、上演権利等の 許諾状況 | 各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否 | 該当なし | 該当コンテンツ名 | |
| | 該当事項がある場合 | 権利者名 | 許諾確認状況 | |
| 演目概要 | 琉球舞踊は、沖縄の歴史と伝統の中で芸術的に洗練された、特色ある舞踊です。琉球王国で大成した琉球古典音楽による古典舞踊と、明治以降に庶民の風俗や民謡を取り入れて創作された雑踊りに大別されます。古典舞踊は、琉球王国で冊封使を歓待するために創作され、王府の庇護のもと芸術的に洗練されました。役柄の性別や年齢により老人踊、若衆踊、女踊、二才踊に区分されます。古典舞踊の中心は、女性の情念を抑制された所作で豊かに表現する女踊です。雑踊りは、古典舞踊の技法をもとに明治以降創作され、庶民の生き生きとした感情を表現しています。 | | | |
| 演目選択理由 | 琉球舞踊の芸術性、歴史上の価値、地域的特色を、強く感じていただける演目と致しました。 ○古典舞踊は、琉球王朝時代に王府の庇護のもと、高い品格と様式美が磨かれました。こうした歴史的背景、芸術性があります。琉球舞踊の源流は古い祭祀や儀礼にあると言われ、手をこねるコネリ、体のなよやかな動きナヨリなど面影が残っています。 ○作品の多くは、長寿、子孫繁栄の願いや、恋や愛を主題にしており、予祝的な祝儀舞踊や、歌曲に大和芸能を取り入れた口説の作品もあります。○雑踊りは、遊女や田舎娘、漁夫などの暮らしがモチーフとなっており、様々な文化、芸能、慣習を見ることが出来ます。こうした教育的価値の含まれる演目を、分かりやすく興味を持って鑑賞できるように、実演とレクチャーを通して、お伝えしたいと考えます。 | | | |
| 児童・生徒の共演、参加又は体験の形態 | ●「紅型塗り絵の紹介」:ワークショップでお渡した塗り絵のシートを頂戴して、会場の舞台装飾に使います。 ●「うちなーぐちクイズ」:案内役の進行で、うちなーぐちを二択のクイズ形式で行います。鑑賞者はその場で参加できます。 ●「装束着付・小道具体験」:代表児童・生徒が、小学生の場合は若衆踊り、中学生の場合は二歳踊り、それぞれの装束を着付けて小道具を持ちます。舞踊シーンのポーズを舞台上で披露し、自身の姿を鏡で見て、出演者と一緒にならんでみましょう。 ●「舞踊発表『四つ竹』」:代表児童・生徒に、紅型衣装を羽織り、足袋を履いて、地謡の演奏に合わせて演舞を披露してもらいます。ステージ上もフロアのどちらも使い会場一杯に踊ります。琉球舞踊の基本構成の出羽・中踊り・入羽を披露します。 ●「面の体験」:代表児童・生徒が「醜童」で使われる、面をかけてステージで歩みをしてみましょう。 | | | |
| 出演者 | 沖芸大琉球芸能専攻OB会 会員 琉球舞踊家 石川直也、新垣悟、佐辺良和、喜屋武愛香、新里春加、川満香多、伊藝武士、吉田真和、古謝渚、喜納彩華、仲嶺夕理彩 ほか 琉球古典音楽演奏家 よなは徹、比嘉千咲、宜保和也、横目大通、島袋奈美、平良大、大城貴幸、澤井每里子、大城建太郎、亀井美音、ほか | | | |
| 本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む | 出演者: 15 名 スタッフ: 4 名 合計: 19 名 | 運搬 | 積載量: 2 t 車長: 4.7 m 台数: 1 台 | |

| | | | | | | |
|--|-------|--------------|------------|-----|---------|-----|
| 本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安 | 前日仕込み | 無 | 前日仕込み所要時間 | | 時間程度 | |
| | 到着 | 仕込み | 上演 | 内休憩 | 撤去 | 退出 |
| | 9時30分 | 9時30分～11時30分 | 13時30分～15時 | 10分 | 15時～16時 | 16時 |

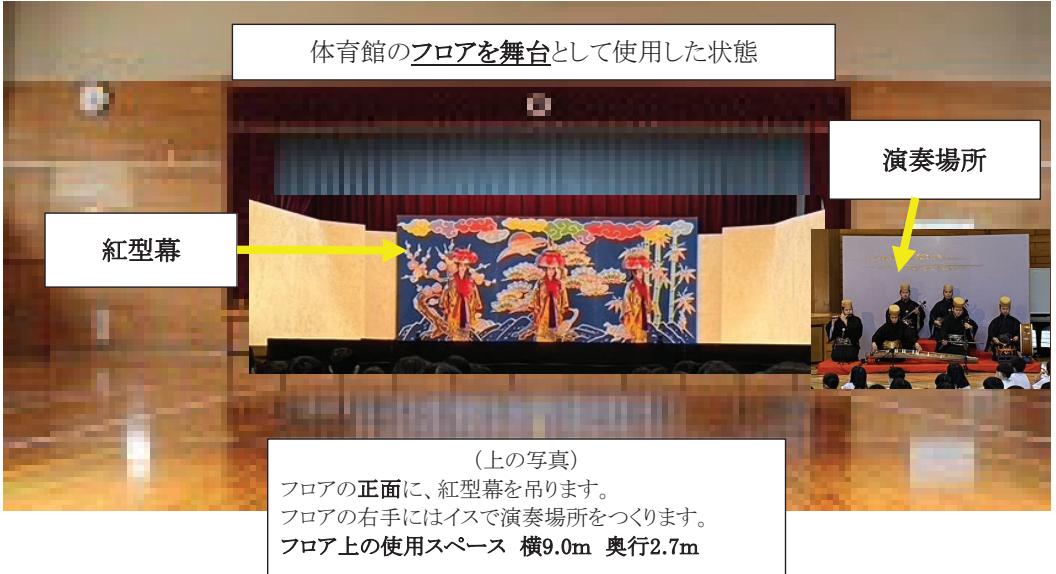
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

| | | | | | | |
|---|-----------------------|-----|-----|-----|-----|--|
| 本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません) | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | |
| | 10日 | 8日 | 0日 | 11日 | 5日 | |
| | 11月 | 12月 | 1月 | 計 | 55日 | |
| | 3日 | 4日 | 14日 | | | |
| | ※平日の実施可能日数目安をご記載ください。 | | | | | |

| | | | |
|------------------|-----|--------|--------|
| 児童・生徒の 参加可能人数 | 本公演 | 共演人数目安 | 15名程度 |
| | | 鑑賞人数目安 | 250名程度 |



(上の写真)
ステージ上の正面に、紅型幕を吊ります。
フロアの右手にはイスで演奏場所をつくります。
ステージ上の使用スペース 横5.4m 奥行2.7m



(上の写真)
フロアの正面に、紅型幕を吊ります。
フロアの右手にはイスで演奏場所をつくります。
フロア上の使用スペース 横9.0m 奥行2.7m

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出や
がわかる写真)

※採択決定後、採
択団体へ図面等詳
細の提出をお願い
します。

【公演団体名 沖芸大琉球芸能専攻OB会】

| 児童・生徒の参加可能人数 | ワークショップ | 参加人数目安 | 100名程度 |
|----------------------------|--|--------|--------|
| <p>ワークショップ実施形態及び内容</p> | <p>標準:90分 (①～⑥:45分) (⑦⑧:45分、代表児童・生徒のみ)</p> <p>①指導者全員が着物を着て、体育館で児童・生徒の皆さんをお迎えします。 ・始めに指導者全員で、あいさつをします。続いてうちなーぐちで‘ハイサイ’とあいさつします。 児童・生徒の皆さんも‘ハイサイ’と言ってみましょう。 ・指導者が1人ずつ名前と役割などを紹介します。 ・本事業の紹介とワークショップで何を行うか、プログラム順に紹介します。</p> <p>②沖縄県独自の代表的な舞踊を2つ紹介致します。 ・エイサーと琉球舞踊、それぞれの特徴や、あらましについてお話します。 ・エイサーと琉球舞踊、それぞれのジャンルを三線の演奏に合わせて踊ります。 ・エイサーと琉球舞踊の歌詞について、琉歌の仕組み 和歌との違いや、特徴をお話します。 ・琉歌の文字数8886に合わせて、琉歌作りにチャレンジしましょう。</p> <p>③楽器(三線)を紹介します。 ・三線の伝来や歴史をお話しながら、クイズ形式で三線をパーツごとに紹介します。</p> <p>④楽器を使った舞踊体験してもらいます。楽器、パーランクーと四つ竹を使います。 ・楽器パーランクーを使ってエイサーにチャレンジしましょう。 ・楽器四つ竹を使って琉球舞踊にチャレンジしましょう。</p> <p>⑤琉球舞踊の所作を体験してもらいます。 ・三線の「赤田首里殿内」の演奏に合わせて手遊びを行います。 ・三線の演奏に合わせて、役柄のポーズで歩みを行います。 大きな輪を作って一方向を向いて、会場内を歩んでみましょう。</p> <p>⑥最後に、ワークショップを振り返って、感想や質問を聞かせて下さい。 休憩10分</p> <p>⑦代表児童・生徒の皆さんが、琉球舞踊「四つ竹」に挑戦です。 ステップ1 基本の立方(構え)を練習します。 ステップ2 歩みを練習します。 ステップ3 所作を練習します。 ステップ4 最後に通して練習します。</p> <p>⑧最後に、ワークショップを振り返って、感想を聞かせてください。</p> <p style="text-align: right;">※別添:ワークショッププログラム①②参照</p> | | |
| <p>ワークショップのねらい</p> | <p>地方的特色や舞踊の特徴が顕著な、沖縄県独自の伝統芸能である、エイサーと琉球舞踊を初めて識る貴重な機会となるでしょう。 パーランクーを使ってエイサーを体験、四つ竹を使って琉球舞踊を体験、三線の演奏に合わせて手踊りを体験、こうして沖縄県独自の代表的な舞踊をレクチャーし体験することで、本公演への興味関心を促すことに繋がると共に、芸術鑑賞能力の向上、また音楽教育、身体教育にも繋がると思うのです。 また琉歌と和歌の違いを知り、その場で考えて琉歌を作ってみることで、発想力が想像力が養われ国語教育にも繋がると思うのです。 三線の伝来を紹介する中で、沖縄県の歴史にも触れ、社会教育の一助になると考えます。 代表児童・生徒が、琉球舞踊「四つ竹」を練習することで、仲間と一緒に踊る楽しさ、所作や技術の難しさを感じることでしょう。指導者は児童・生徒の憧れの存在となるような姿勢で、ワークショップに取り組むことで、芸術家の育成に繋がると思うのです。 ワークショップの最後に振り返りを行うことで、学んだことを自覚し、次の学びを生み出すことが出来ると考えます。また、自己の成長を自覚すると共に、その場で発表することで、他者の振り返りの内容を共有し、自分の学びに生かすことが出来ることでしょう。</p> | | |
| <p>その他ワークショップに関する特記事項等</p> | <p>・本公演までに、紅型デザインの塗り絵に色を塗りましょう。本公演の際に舞台美術として、会場に装飾致します。(授業時間などに差し支えない程度で取り組んでみてください)</p> <p>琉球舞踊について、国立劇場おきなわのホームページから、以下のサイトをご紹介します。 https://www.nt-okinawa.or.jp/traditional-okinawan-performing-arts/ja/ryukyudance.html https://www.nt-okinawa.or.jp/okinawan-traditional-performing-arts/ryukyuan-dance</p> | | |

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名

沖芸大琉球芸能専攻OB会

】

| | |
|--|---|
| <p style="text-align: center;">C区分で事業を 実施するに当たっての 工夫</p> | <p>i) 離島・へき地等における公演実績</p> <p>2019年 琉球舞踊公演 2公演(伊平屋村我喜屋区、伊是名村伊是名区)</p> <p>ii) 離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台装置として、児童・生徒さんに色を塗って頂いた、紅型の塗り絵を舞台美術の装飾に加えます。 ・琉球芸能の舞台で必ず使われる紅型の背景を、照明機材を使わず、体育館内の電球と、自然光で舞台映えする、特別な仕様となる幕を使い、舞台芸術の質を担保致します。 ・本公演プログラムの演目において、本来、琉球舞踊家は演目を1番、務めることが多いのですが、本事業に於いてはダブルキャストで行います。 ダブルキャストで行いますが、沖芸大琉球芸能専攻OB会の多くの人材から優れた舞踊家を選出し、必ず本公演前のリハーサルを行い、監修者に立ち会ってもらう事で、琉球舞踊の芸術性を担保致します。 ・本公演プログラムの演目において、本来、地謡の歌三線は、通常3人で演奏されますが、2名で演奏します。 2名で演奏しますが、沖芸大琉球芸能専攻OB会の多くの人材から優れた歌三線の演奏家を選出し、必ず本公演前のリハーサルを行い、古典音楽監修者に立ち会ってもらう事で、琉球古典音楽の音楽性を担保致します。 <p>iii) C区分申請における、小規模な公演の観点から実施する経費削減等についての工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照明機材持ち込まないことで、舞台費を抑えることが出来ます。 ・本公演プログラムの演目において、琉球舞踊家は演目をダブルキャストで行うことで、出演費を抑えることが出来ます。 ・本公演における、地謡の歌三線は、通常3人で演奏されますが、2名で行うことで、出演料を抑えることが出来ます。 |
|--|---|

リンク先 No.2

【公演団体名 沖芸大琉球芸能専攻OB会 】

本公演プログラム



かなよー あまかー
1. 「加那ヨ一天川」 雑踊り

2. ごあいさつ
紅型塗り絵の紹介
うちなーぐちクイズ



しきくどうち
3. 「四季口説」 若衆踊り



めーのはま
4. 「前の浜」 二才踊り



5. 装束着付
小道具体験



6. 舞踊発表 「よつだけ
四つ竹」
女踊り 祝儀曲



本公演演目①

リンク先 No.2

【公演団体名 沖芸大琉球芸能専攻OB会 】

本公演プログラム



かしかけ
7. 「総掛」 女踊り
古典舞踊

8. 地謡の楽器紹介
(構造や音色について)



9. 面の体験



しゅんどう
10. 「醜童」 打ち組踊り
古典舞踊



ふう
11. 「かぎやで風」 老人踊り
古典舞踊

12. カーテンコール、感想インタビューと質問コーナー

本公演演目②

リンク先 No.3

【公演団体名 沖芸大琉球芸能専攻OB会 】

ワークショッププログラム



①ご挨拶

着物を着て体育館で児童・生徒の皆さんをお迎えます。
うちなーぐちでお互いに‘ハイサイ’とあいさつしてみましょう。



②エイサーと琉球舞踊の紹介

沖縄県の代表的な舞踊を2つ紹介します。
エイサーと琉球舞踊、それぞれのジャンルを見比べてみましょう。
歌詞に使われている琉歌の文字数8886に合わせて、琉歌作りにもチャレンジしましょう。



③楽器（三線）の紹介

琉球舞踊の伴奏に使われる代表的な楽器、三線の伝来や歴史をお話ししながら、クイズ形式で三線をパーツごとに紹介します。

ワークショップ
プログラム①

リンク先

No.3

【公演団体名

沖芸大琉球芸能専攻OB会

】

ワークショッププログラム



④楽器を使った舞踊体験

パーランクーと四つ竹という2種の楽器を体験します。
パーランクーを使ってエイサーに、
四つ竹を使って琉球舞踊にチャレンジしましょう。



⑤琉球舞踊の所作を体験

三線の「赤田首里殿内」の演奏に合わせて手遊びを行います。
次に三線の演奏に合わせて、役柄のポーズで歩みを行います。
大きな輪を作って一方向を向いて、会場内を歩んでみましょう。

⑥ワークショップを振り返って、感想や質問を聞かせて下さい。

<休憩10分>

⑦代表児童・生徒の皆さんが、琉球舞踊「四つ竹」に挑戦

ステップ1 基本の立方（構え）を練習します。

ステップ2 歩みを練習します。

ステップ3 所作を練習します。

ステップ4 最後に、ステップ1～3を通して練習します。

⑧ワークショップを振り返って、感想や質問を聞かせて下さい。

ワークショップ
プログラム②